

米国姉妹都市派遣高校生 渡航レポート

町内在住の高校生2名が町姉妹都市協会から7月21日から8月4日までの2週間、米国ウィスコンシン州ラシニング市に派遣されました。ホームステイや市民との交流など貴重な体験をされた高校生たちのレポートをご紹介します。

なお、高校生自らがラシニング市でのホームステイの様子について報告する「渡航報告会」を9月3日（土）、14時から保健センター研修室にて開催します。どなたでも参加できますので、ぜひご来場ください。

問 町姉妹都市協会事務局（総務課） ☎内線208

人と人のつながり

山田 柚菜

ラシニングで過ごした二週間は、私の人生で一番充実した時間でした。

ラシニングは、北アメリカにある五大湖のうちの一つ、ミシガン湖の西側にあります。自然豊かでとても綺麗な都市です。日本で「beach」というと、海を想像しますが、ラシニングでは、もちろん湖のことを指します。そんなちょっとしたことにも驚き、感心しました。

二週間という短い間でしたが、観光地、音楽祭、野球観戦など、たくさんの場所へ連れて行ってもらい、素晴らしい体験をすることができました。そして、ホストファミリーとの会話や毎日の食事など、特別な場所へ行かずに学んだこともたくさんあります。一番印象に残っているのは、人々の仲の良さです。ホストファ

ザーがマザーに花をプレゼントしていたり、素敵だと感じる場面がいくつもありました。自分の感情を言葉で表すことが、仲良くいることの秘訣なのだと思います。

大磯町は、本当に素晴らしいつながりを持っています。この二週間は、ラシニングだけでなく改めて大磯町を好きになるきっかけにもなりました。このようなきっかけを与えてくださった大磯町の方々、そして家族やホストファミリーに心から感謝しています。この経験を上手く活かしていきたいです。



笑顔は世界共通言語

反町 澄

アメリカに行くことそれは私の1つの夢でした。

そして16歳の夏夢をかなえることができました。シカゴ空港に降り立ったとき嬉しさのあまり涙が出てきました。ホストファミリーの家には数え切れないくらいの鯉が泳いでたり、漢字の掛け軸、大仏の置物、手作りの鳥居などがありすごく和を感じました。ファザーが漢字の意味を聞いてきたりして自然とコミュニケーションも取れるようになりました。

題名にもあるように笑顔は世界共通言語というのは本当です。スーパーなどで買い物をしていて目が合うと微笑んでくれたりHow are you?などフレンドリーに聞いてくれます。日本にはないアメリカの良さでした。異文化に触れたことでやっぱり日本食は美味しい

と思いました。そして巫女舞を披露し新聞に載せて頂いた事は素晴らしい経験になりました。ホストファミリーと過ごす夜はとても楽しかったです。最後の夜私がお土産で持っていった江戸フェイスパックをみんなでしてたくさん笑いました。本当に笑わない日はなかったくらい毎日がキラキラしていました。二週間の短い体験でしたが一生忘れない事ばかりです。私の16歳の夏…いつまでも心に残る思い出となりました。



デイトン市から
高校生が来磯

町姉妹都市協会では、7月22日から8月4日までの14日間、米国姉妹都市デイトン市の高校生3名をお迎えしました。

高校生たちは町内のホストファミリー宅に滞在して、着物の着付けやお茶、お花の体験、盆踊り大会、なぎさの祭典など、日本の文化や生活、歴史に触れました。また、いそっこ海の教室、小学校での英語教室や高校生との交流などにも参加して、多くの町民との交流を深め、大磯での夏の思い出をつくり、帰国されました。

問 町姉妹都市協会事務局（総務課） ☎内線208

